

明専会2020基金事業「母校愛・同窓の絆強化」

## 令和5年度部活動応援事業について

明専会理事 花本 剛士(電59)



活動報告を会報924号に掲載していただき、会員の皆様へ報告しておりますので、まだ目を通していない方は是非ご一読をお願い致します。

令和5年度の申請につきましても、昨年度と同様のスケジュールで行い、選考は、各団体からの申請書を学生育成部会で検討し、採択団体、採択金額を決定しました。本年度は応募件数9件であり、文末に記載の5団体を採択しました。採択された団体は、3月18日の総会で贈賞式を行うと共に、代表者には懇親会にも参加してもらい、今後の目標や意気込みを発表してもらいました。

明専会2020基金事業の1つである「部活動応援事業」も会員の皆様のご協力のもと、無事初年度の事業を完了し、2年目を迎えることができました。本事業内容は、九州工業大学責善会に所属している部活動サークルの中から顕著な成果を挙げている団体に対し、その活動内容を顕彰するとともに、活動資金を支援して応援することにより、学生と会員との絆を強いものとする事です。一団体当たり30万円を上限として活動資金を支援し、年間100万円、総額1000万円の支援を10年間継続します。初年度は8団体を採択し支援を行いました。各団体には1年間の

ここで選考過程について、説明します。本事業の申請書は、活動実績、活動目標、計画、活動経費項目等、項目数が多いのですが、これは活動を文章でアピールできる能力を養う経験としてもらうことも考慮したものです。また、同窓の絆を意識するようにOB・OGとの繋がりについて

ても記載項目を設けておりますが、これには学生が卒業し正会員となった際に母校支援に積極的に関与して貰う意味も多少含ませています。

次年度以降に応募を検討している団体は、申請書に書かれている項目を確実に、そして具体的な活動計画を記載されることを勧めます。これまでに採択された団体は前年度の業績に併せて前述の申請書がしっかりと書かれていることが評価されています。また可能であればOB・OGの方と相談して申請書を推敲していただきたいと思えます。OB・OGの方は相談があれば是非お力をお貸しください。このような活動こそが同窓の絆の強化に繋がると考えています。そして申請団体が増えることを期待しています。

2020年から続いていたコロナの影響も、ようやく収まりつつあります。今年度はOB会や現役学生と交流が復活する団体も多いと思います。同じ競技や活動に共感して過ごした学生時代の友人との再会や、年代を超えた繋がりを通じて母校を思い起こしていただけたら、そして本事業がそのきっかけになれば嬉しい

限りです。

明専会では、今後も本事業を通して学生を明専会会員との絆がより強いものとなるように支援を継続していきたいと考えています。本事業にご賛同いただき、採択団体への支援を充実させたいとお考えの場合には明専会事務局にご連絡下さい。なお、部活動団体名を指定してのご支援の場合には、九州工業大学基金にその旨の指定を行ってお申し込み下さい。

### 【令和5年度採択団体】

- ・ 航空部
- ・ 水泳部
- ・ 自動車部
- ・ 硬式野球部
- ・ アメリカンフットボール部

明専会は、今後も学生諸君の部活動を応援していきます。  
(大学院生命体工学研究科 教授)

## 再び一部リーグへ

アメリカンフットボール部 主将 平尾 拓馬(機械工4年)



この度は、令和5年度明専会2020基金事業「部活動応援」において、支援対象として採択していただき誠に光栄に思います。

昨シーズンは4年ぶりの一部リーグでの戦いとなりました。新型コロナウイルスの影響も緩和され、他大学との合宿や合同練習なども行い、日々、目標である「一部残留」に向けて取り組んで参りました。結果は、初戦、二回戦と敗退し、一部残留を賭けた福岡教育大学戦に、34-9で敗れ、残念ながら目標達成とはなりませんでした。しかし、そこで折れることなく、1ヶ月後に控えた佐賀大学との順位決定戦に向けて準備を

重ねました。結果は9-7で勝利し、創部初の一部勝利を成し遂げることができました。勝利した際に、先輩方や、保護者の皆様も非常に喜んでくださり、とても嬉しく思いました。



試合中の1枚

秋期リーグが終わり、幹部も交代し、昨年の12月よりチームも新体制となりました。今シーズンのチーム目標は「二部全勝、一部昇格」、チー

ムスローガンは「BEAT」に設定しました。昨シーズン一部リーグを経験し、もう一度この舞台で戦いたいとチーム全体に火が付きました。来シーズン、必ず一部で戦うためにこの目標に決定しました。また、チームスローガンである「BEAT」は、目標が「二部全勝、一部昇格」である以上、二部相手には圧倒する、また、スコアだけでなく個人でも相手に圧勝する、普段の練習から全員が声を出しチームを鼓舞する、という意味を込めました。

私たちのチームは、4年生のプレイヤーが1人しか在籍しておらず、1、2、3年生のプレイヤーが18人と若いチームです。4年生が少ないこともあり、下級生に様々な役割を任せていますが、日々試行錯誤しながら練習に励む姿を見てとても頼もしく思います。来シーズン、このチームが一部で試合ができるよう、主将としてチームをまとめ、秋シーズンを迎えたいと思います。

あと3カ月もすると秋期リーグが開幕します。他大学に比べ人数が少ない分、体方面、戦術面のどちらも成長する必要があります。毎練習で

撮影しているビデオを活用し、反省を重ね、春の交流戦や夏合宿などを通して、秋シーズンに向けて選手、スタッフともに万全の準備を行っていきたいと思います。

私自身、アメリカンフットボール部に入部して以来、たくさんの方々の支えと共にこの4年間を過ごしてきました。その方々に勝利という形で恩返しするためにもチーム全体で切磋琢磨し、「二部全勝、一部昇格」を達成するために精進して参ります。これからもご声援のほど宜しくお願い致します。



試合後の集合写真

## さらなる成長に向けて

航空部 平野 太一(宇機4年)

とができました。

この度は、明専会部活動応援事業において、ご支援をさせていただきました誠にありがとうございます。今回のご支援では、対面での授与式及び懇親会を行っていただけただけで、ほんやりとしていた明専会という存在を非常に身近に感じることができた瞬間でした。大学での部活動が、ここまで大きくながりを生むことに感謝し、素直に嬉しく思います。

### 前年度の成果

さて、話は変わりますが、前年度は九州工大航空部にとって飛躍の年となったように思います。自家用操縦士(技能証明取得者)6名の誕生、学生での整備士取得者の誕生、新機体の導入、全国大会への出場。ざっと挙げただけでも今までは考えられないような成果であり、年間の技能証明取得者数は全国トップクラスです。OBの教官方を始め、OBOG、先輩方の大きな支えを生かすこ



上空での1枚

### 今年度の意気込み

新に9名の新生が入部、部員25名となりました。各学年の人数もバランス良く、下級生にとっても居心地が良いのではないのでしょうか。この中で、昨年度はすごかった、とまらないよう、飛躍からさらに成長できる年にならしたいと思っています。具体的には、各大会での入賞、資格取得者数の維持、また、コロナ禍で途絶えつつあった新歓やその他イベントごとにも復活させていきたいです。次の写真は、去年導入した高性能機ASW19Bに4年生が初搭乗した

時の様子です。この機体で前回成し得なかった全国大会の入賞、優勝を目標に頑張ります。



高性能機への初搭乗時

### 後輩たちへ

航空部の強みは、人とのつながり、学びの広さ、目標の広さの3つだと思います。指導者・整備には特にOB OGの方々の協力が必須となり、普段から幅広い世代との交流があります。そして、他大学との合同での活動も多く、全国各地の航空部員と仲を深める機会もあるほどです。また、機体があるだけでは飛べず、運搬や整備など前準備が大切です。目標の広さは大会での活躍はもちろん、

自家用操縦士、整備士、縁の下の力持ち、後輩の育成など多方面にわたります。団体での活動が必須である反面、個人での自由な目標設定と、その達成感を味わうことができるのは大きな特徴です。そして、どの目標でもサポートできるような環境になりつつあり、それを確立する時代と一緒に作り上げていきましょう！

今後の成果は様々な形でお知らせできたらと思います。今後のさらなる成長にご期待いただけましたら幸いです。



新生入、大観峰にて

# 成長を繋いでいく

硬式野球部 主将 平野 颯人(マテ4年)



先ずは初めに、令和5年度明専会2020基金事業「部活動応援」におきまして、硬式野球部を採択していただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。

硬式野球部は年に2度開催される福岡六大学リーグ戦において好成績

を残すことを目標に日々活動しております。最下位脱出を掲げて過日に行われた春季リーグ戦に挑みました。結果は残念ながら目標達成とはならず、またしても最下位という苦汁を

なめる形となりました。昨年度も応援事業に採択いただいたにもかかわらず、結果として恩を返せなかったことの悔しさが残りました。福岡ペ

イペイドームでの試合には数多くの関係者の方々にも応援にお越しいただき、力となりました。今季のリーグ戦からコロナの感染拡大以降初となる通常の観客動員、閉幕式も行われました。現部員にコロナ禍前の通

常のリーグ戦を経験したことがある部員は一人もいなかったため、全員にとって初めての通常開催となり、喜びもあつたりリーグ戦でした。試合

内容については、チームとしての成長も見ることができました。部員数が以前より増えたこともあり、チーム内での競争ができるようになり、

競争意識が芽生えています。それによつて、時間の間を縫って自主練習に取り組む選手が増え、過去最高のヒット数、守備率を挙げられています。しかし、応援してくださる皆様

に目に見える形で結果を見せなければならぬと考えています。先日行われた贈与式においてもOBの皆様から応援の声をいただきました。自分たちのためだけでなく、応援してくださる皆様によりよい報せをお届けできるように、悲願達成に向けて部員一同さらに発奮しています。

去る春季リーグ戦をもって硬式野球部は代替わりをし、主将を引き継ぎました。新キャプテンの宮原和宏外野手を中心とし、勝ちにこだわることができるようなチーム作りを目指して

指していつてくれたら、と考えています。他大学と比べて少人数で活動している私たちですが、少人数故の結果力が強みです。学生野球ですが、野球チームとして強くなるだけでなく、人間的に成熟したチームとなるべきです。新宮原キャプテンには

リーダーとしていかにチームをまとめ、より良い方向へ導けるかを考えながら、リーダーとしての能力を磨いてくれると嬉しいです。手綱を引いて導くのではなく、全体を同じ方

向に向け高めあえるようなチームを作ってくれると嬉しいです。また、チーム作りは優秀なリーダーが一人いるだけでは成立しません。各選手におきまして、各自が自立し努力するチームを目指すべきです。卒業後にも活かせるような経験をしてほしいと願っています。

基金は野球を続けていくうえで必要不可欠となるボールや、環境整備、実力向上のためのトレーニング道具の購入に使用させていただく予定です。今年度は昨年度以上に勝利にこだわって取り組んでまいります。これからも変わらぬご声援のほど、よろしくお願いいたします。



# 自動車部、今年度の目標（逆境を成長に）

自動車部 主務 黒木 悠登(機制工2年)



集合写真

## 今年度の目標について

自動車部が掲げた今年度の目標は「全九州大学対抗チャンピオンシリーズ総合優勝、四連覇達成」です。我々は、毎年九州各地の大学の自動車部が集結し、しのぎを削る「全九州大学対抗チャンピオンシリーズ」に参加し、昨年度三年連続総合優勝を果たしています。この成績は

多くの先輩・OBから続けている我が部の誇るべき偉業です。今年度も連勝記録を伸ばせるように、部員一人丸となって活動することを今年度の目標としました。

## 活動計画と支援金の活用について

前述した大きな目標を達成するため、今後の活動計画が大きく分けて二つあります。

第一に、大会で勝てる競技車両の購入・製作です。使う用具が成績に影響するとスポーツ全般に言われていますが、モータースポーツも例外ではありません。競技車両の性能で勝負が決まるといっても過言ではないと思います。

しかし、その競技車両に関して大きな課題が発生しました。大会に出場できる競技車両の条件をまとめた競技車両規則が変更され、これまでの競技車両が使用できなくなりました。そのため、新しく競技車両を買わなければいけません。新

しい車両規則に則した競技車両の購入・製作は、時間や資金が多くかかります。いただいた支援金を使用し、新車両の購入を考えています。



競技中の様子

次に、部員全員の運転技術の向上です。前述した通り確かに車両の性能が成績に影響しますが、そのほかにも運転する選手の技術も成績に差をつける要因の一つとなります。

昨年、自動車部は月に一度県内の練習場に行き、練習会を開催しました。先輩に教わったり走行の映像を見返したりして、コンマ一秒でもタイムを縮めるために選手たちは奮闘

しました。これまで我々が使用してきたトラブルの多い競技車両でも優勝できたのは、努力をして運転技術を磨いていたからだと思っています。

しかし、昨年末その会場が閉鎖されることとなり、手軽に練習を行える場所が無くなってしまいました。これまでより練習量は減ってしまいましたが、限られた時間を有効に使い、大会で戦える術を少しでも多く身につけられるよう頑張ります。

今年度は新入部員のスキルアップにもより力を入れたいと考えています。新入部員にとって自動車部の活動は難しいのようになります。特に大会に出場するのは、出場費も高くなかなか簡単にはできません。そこで、より大会に参加しやすくするために、新入部員への大会費用の援助を考えています。普段より安く大会に参加する機会を与え、スキルアップへの意欲を高めてもらえればと思います。

今年度の自動車部は課題が多く、その分伸びしろが大きいチームです。昨年度よりもレベルアップした姿を見せられるよう部員一同精一杯活動しますので、応援の方よろしくお願ひします。

# 水泳部の季節

水泳部 主将 河村 雄大(マテ3年)

こんにちは。水泳部です。この度は令和5年度明専会2020基金事業『部活動応援』において、支援対象として採択していただき誠に光栄に思います。また、感謝申し上げます。今回の支援額は、全国大会への出場の旅費や、部費の一部として施設利用費、新しい道具などの購入にあてたいと考えております。

さて、今回は6月から始まる水泳部のシーズンについてと、今年度の年間計画について簡単にお話ししようと思います。

水泳の本シーズンは6〜9月に当たります。やはり、黒く焼けた肌鍛え上げられた体が夏を自然と感じさせます。本水泳部は戸畑キャンパスにあるプールを5月より使用を始めました。外プールなので、練習を開始した当初は水温が20度を下回ることもあり、練習もままなりませんでしたが、5月も終盤に差し掛かり、安定して20度を上回り、泳ぎやすい

温度になってまいりました。しかしながら、部員一同隣の芝生は青いといえますように、室内プールで練習しているチームが羨ましいとの声がちらほらと…。

話はさておき、全国大会のシード権を争う九州国公立選手権が6月の10日11日にグローバルマーケットアークパーク桃園にて開催されます。

今大会では、団体で4位に入賞できると「団体権」といって、全国大会へ九州ブロックの代表としてシード権が与えられます。こちらの獲得は2年前はできましたが、去年は、逃してしまったこともあり、今年度は昨年度以上に部員全体で奪取にむけて練習に取り組んでおります。今年度は新入生が新たに14名加入したこともあり、昨年度よりもよりパワーアップした水泳部となっております。

ぜひ応援よろしく願います。まだまだ、大会では入場規制が行われていますが、声出し応援の解禁もは

じまり、競技会も盛り上がりを取り戻してきております。水泳部も途絶えてしまった応援の伝統を、1からしっかりと引き継いでいきたいと考えております。

今大会の目標は男子総合3位、女子の全国大会出場を目標にしております。必ず達成できるように頑張ります。結果に關しましては、随時公式インスタグラムやツイッターにて報告してまいります。ぜひ「九州工業大学水泳部」で検索して、結果をご覧ください。また、共有していただくと嬉しく思います。

続いて、今年度の決まっている流れを簡単に連絡したいと思えます。今年度が始まって、水泳部ではゴールデンウィーク合宿や3年ぶりの北九州インカレの開催を行いました。ゴールデンウィーク合宿では、新1年生の加入もあり、盛り上がりのある練習で取り組むことができました。また北九州インカレでは、男女ともに総合優勝をすることができ、水泳部にいい弾みにもなりました。この結果をバネに今季の目標である全国大会への二桁人数の出場と九州大会での男子団体総合3位になれるように、



北九州インカレでの集合写真



GWでの集合写真

部員全員で団結して盛り上がっているように頑張りたいと思います。